

第5回 富山環境プロジェクトフォーラム

立山連峰が蓄える水、富山湾が抱く海洋水。富山を語る上で欠かせない「水」は多様な姿で、豊かな富山の営みを育んできました。「水資源＝ブルーゴールド」とも称される水を大学の研究成果と人的資源を活かしかに守り育み、活用し、真の意味で地域を潤すか。官学のコラボレーションで、明日の政策を考えます。

富山 富水 富心

多様な水が豊かな心を育む

官の立場から：「最近の環境政策と、その方向」中井徳太郎[環境省総合環境政策局総務課長]

学の立場から：「温故知新(時間軸からみる地球環境と富山)」堀川恵司[富山大学]

地方行政の立場から：パネルディスカッション「地域が求める富山大学」

パネリスト：森 雅志[富山市長] 澤崎義敬[魚津市長] 夏野 修[砺波市長]

中井徳太郎[環境省総合環境政策局総務課長] 張 勁[富山大学] 上田 晃[富山大学] 加賀谷重浩[富山大学]

コーディネーター：金岡省吾[富山大学]

2013年1月16日(水)14:00(開場13:30)

富山大学 学生会館ホール(五福キャンパス) [入場無料] 定員200名

申込・問合せ：富山環境プロジェクトフォーラム事務局(株式会社 PCO 内) 〒939-8063 富山市小杉120 TEL076-428-9166 E-mail:sci@pcojapan.jp



富山大学『高低差4,000m 富山環境』プロジェクト
代表世話人：張 勁[富山大学大学院理工学研究部 教授]